

事業報告

(令和4年2月 1日から
令和5年1月31日まで)

1. 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及び成果

2018年以來4年ぶりに吉田達磨氏を監督に迎えた2022シーズンは、新たな外国人ストライカー、高卒・大卒ルーキーらを加え、昨年3位と躍動したチームの継続性や得点力不足の解消を十分に意識したうえで、J1自動昇格に必要なリーグ戦28勝、勝ち点84を目標にスタートを切りました。

昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響が残り、十分なトレーニングができない中始まったリーグ戦は、開幕戦で岡山に大敗を喫すると、最下位の岩手に敗れた21節時点では6勝9分6敗の13位と勢いに乗れないままリーグ折り返しを迎えることとなりました。リーグ後半戦に入ってもなかなか波に乗れないチームは、8月に4人の外国人選手を獲得して、まずはプレーオフ圏内入りを目指しました。しかし、勝ち点3をつかみ取るための攻撃が機能する試合は少なく、終盤には7連敗を喫すると、最終的には11勝15分16敗の18位という、他クラブの勝敗によってはJ3降格の可能性もあり得た厳しい結果でリーグ戦を終えました。

一方6月から始まった天皇杯においては、2回戦の環太平洋大学戦を順当に勝ち上がると、リーグ戦ではなかなか機能することがなかった、全員で守り、数少ないチャンスを得点につなげるチャレンジャーらしいサッカーでJ1チームを次々と撃破し、決勝戦では広島を相手にPK戦までもつれ込んだ末に勝利し、見事優勝を果たしました。リーグ戦で苦戦する一方、1965年のクラブ創設以来、58年目にして初の主要タイトル獲得という快挙を成し遂げ、山梨県民のみならず全国のサッカーファンに驚きと感動を与えた、これまでにないシーズンとなりました。

ホームゲームにおいては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ホーム初戦が「ワクチン・検査パッケージ」を用いた試合開催となるなど、引き続き様々な制限のある中での試合開催となりました。しかしその後、段階的に制限の緩和があり、9月には、サポーター念願の声出し応援が解禁され、徐々にコロナ禍前のスタジアムの雰囲気を取り戻しました。総観客入場者数は、103,531人(昨年90,824人)、昨年比+12,707人、また平均観客入場者数は、4,930人(昨年4,325人)昨年比+605人となり、昨シーズンに比べ増加しました。天候の影響やリーグ戦の不調などから、序盤は苦戦を強いられましたが、天皇杯優勝の効果もあり、最終戦は9千人を超える来場者数となるなど、少しずつではありますが、入場者数の増加を続けております。シーズンシート会員・ファンクラブ会員数獲得に関しては、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、今シーズン

も苦戦しました。シーズンシート会員口数は、4,057口（昨年3,885口）昨年比+172口、ファンクラブ会員口数は、4,280口（昨年4,466口）昨年比-186口となり、シーズンシートに関しては微増、ファンクラブに関しては微減という結果になりました。

① 入場料収入、②シーズンシート収入、③ファンクラブ収入合算の売上は2億9百万円（昨年1億9千7百万円）と、コロナ禍前J2で戦っておりました2020年1月期の2億8千6百万円と比較しますとまだ厳しい状況ではありますが、入場料収入とシーズンシート収入が増加したことにより、昨年比では増収となりました。

また、地域貢献活動に関しては、スポーツや健康づくりを通して行政や様々な団体と協働することで、豊かで活力ある地域社会の形成を図り、継続的に山梨県全体の発展に貢献したいと考えております。

経営面においては、2022年の年明けより始まった新型コロナウイルス感染拡大第6波の影響により先行きが不透明であったことから、営業収入を昨年当初の予測に近い約12億円としました。収支ともに新型コロナウイルス感染拡大の影響を織り込んだうえ、試合中止など、想定外の事態も起きなかったこと、さらに多くのスポンサー企業からの引き続きの支援、山梨県からのスタジアム使用料等の減免を含めた行政からのサポートもあり、安定した財務状況で推移することが出来ました。さらに天皇杯を優勝したことにより、物販収入が爆発的に伸びたことや、賞金の1億5千万円を追加計上することとなったため、最終的には、営業収入が15億6千3百万円と当初予測を大きく上回りました。支出に関しては、賞金の配分や、来期チーム編成費用などにおいて支出増はあったものの、その他の費用に関して大きな増減はなく、営業利益を3千6百万円、経常利益を5千4百万円、特別損失にアカデミーグラウンドの張替による除却損を計上し、当期純利益は2千6百万円という結果となりました。経営面は安定していたものの、最大の目標であるJ1昇格はかなわず、リーグでの成績は例年になく厳しい結果となりましたが、天皇杯優勝というタイトルを獲得できたことは、行政・スポンサー・株主・サポーターをはじめとするヴァンフォーレ甲府に関係するすべての皆様の長年にわたる支援の賜物であり、この多大なる支援に心より感謝を申し上げる次第です。

来期は、J1昇格を目指しリーグ戦を戦いながら、アジアチャンピオンズリーグにも参戦する怒涛のシーズンになります。安定的な経営を維持しながらも、皆様のご期待に応えられるシーズンとなるよう、チーム・フロント一体となり最大限の努力をしてまいります。

2022 明治安田生命 J2リーグ 順位表

J2リーグ終了時点

順位	チーム	勝点	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点差	ホーム			アウェイ		
										勝	分	敗	勝	分	敗
1	アルビレックス新潟	84	42	25	9	8	73	35	38	16	2	3	9	7	5
2	横浜FC	80	42	23	11	8	66	49	17	13	4	4	10	7	4
3	ファジアーノ岡山	72	42	20	12	10	61	42	19	12	5	4	8	7	6
4	ロアッソ熊本	67	42	18	13	11	58	48	10	8	6	7	10	7	4
5	大分トリニータ	66	42	17	15	10	62	52	10	9	7	5	8	8	5
6	モンテディオ山形	64	42	17	13	12	62	40	22	11	4	6	6	9	6
7	ベガルタ仙台	63	42	18	9	15	67	59	8	8	5	8	10	4	7
8	徳島ヴォルティス	62	42	13	23	6	48	35	13	8	11	2	5	12	4
9	東京ヴェルディ	61	42	16	13	13	62	55	7	10	5	6	6	8	7
10	ジェフユナイテッド千葉	61	42	17	10	15	44	42	2	8	5	8	9	5	7
11	V・ファーレン長崎	56	42	15	11	16	50	54	-4	4	8	9	11	3	7
12	ブラウブリッツ秋田	56	42	15	11	16	39	46	-7	6	6	9	9	5	7
13	水戸ホーリーホック	54	42	14	12	16	47	46	1	8	5	8	6	7	8
14	ツエーゲン金沢	52	42	13	13	16	56	69	-13	5	7	9	8	6	7
15	FC町田ゼルビア	51	42	14	9	19	51	50	1	7	6	8	7	3	11
16	レノファ山口FC	50	42	13	11	18	51	54	-3	8	7	6	5	4	12
17	栃木SC	49	42	11	16	15	32	40	-8	4	9	8	7	7	7
18	ヴァンフォーレ甲府	48	42	11	15	16	47	54	-7	6	8	7	5	7	9
19	大宮アルディージャ	43	42	10	13	19	48	64	-16	6	7	8	4	6	11
20	ザスバクサツ群馬	42	42	11	9	22	36	57	-21	5	6	10	6	3	12
21	FC琉球	37	42	8	13	21	41	65	-24	3	8	10	5	5	11
22	いわてグルージャ盛岡	34	42	9	7	26	35	80	-45	4	3	14	5	4	12

2022 明治安田生命 J2リーグ 観客動員順位表

J2リーグ終了時点

順位	チーム	ホーム数	平均(人)	合計(人)
1	アルビレックス新潟	21	14,954	314,039
2	ベガルタ仙台	21	8,991	188,810
3	ファジアーノ岡山	21	7,065	148,360
4	大分トリニータ	21	6,618	138,986
5	モンテディオ山形	21	6,451	135,463
6	ジェフユナイテッド千葉	21	5,775	121,267
7	大宮アルディージャ	21	5,272	110,707
8	横浜FC	21	5,088	106,849
9	V・ファーレン長崎	21	5,061	106,280
10	東京ヴェルディ	21	4,955	104,054
11	ヴァンフォーレ甲府	21	4,930	103,531
12	栃木SC	21	4,429	93,010
13	徳島ヴォルティス	21	4,224	88,697
14	ロアッソ熊本	21	4,039	84,817
15	レノファ山口FC	21	3,661	76,879
16	ツエーゲン金沢	21	3,421	71,842
17	FC町田ゼルビア	21	3,243	68,107
18	水戸ホーリーホック	21	3,140	65,941
19	ザスバクサツ群馬	21	3,076	64,598
20	ブラウブリッツ秋田	21	2,283	47,952
21	FC琉球	21	1,996	41,916
22	いわてグルージャ盛岡	21	1,749	36,724



シーズンシート・ファンクラブ会員数

2022シーズンシート会員	4,057口
2022ファンクラブ会員	4,280口
2021シーズンシート会員	3,885口
2021ファンクラブ会員	4,466口

天皇杯JFA第102回全日本サッカー選手権

日付	ラウンド	対戦相手	結果
6月1日	2回戦	環太平洋大学	5-1
6月22日	3回戦	北海道コンサドーレ札幌	2-1
7月13日	ラウンド16	サガン鳥栖	3-1
9月7日	準々決勝	アビスパ福岡	2-1(延長)
10月5日	準決勝	鹿島アントラーズ	1-0
10月16日	決勝	サンフレッチェ広島	1-1(PK5-4)

選手、スタッフ、フロント業務一覧

項目	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
イベント参加 (選手、スタッフ、マスコット)	131回	121回	137回	81回	44回	48回
サッカー教室	152回	166回	159回	98回	128回	62回
交流活動 (施設訪問等)	8回	8回	8回	2回	2回	5回
巡回教室 (スポーツ教室、夢、ご飯のチカラ、仕事図鑑)	45回	35回	24回	20回	110回	106回
巡回ヴァンくん体操	33回	26回	15回	6回	3回	4回
介護予防事業	15回	15回	82回	74回	40回	81回
講演会/講習会/講話	26回	36回	33回	21回	20回	29回
関連団体行事	112回	114回	109回	93回	55回	68回
クラブ直轄行事	38回	37回	24回	8回	26回	65回
職場体験/インターンシップ (受入人数)	57回	42回	28回	6回	3回	4回
総合計	617回	600回	619回	409回	431回	472回

経営状況の推移

(株) ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ

令和3年1月

損益計算書

(単位：円)

科目	平成29年 2017年(J1)	平成30年 2018年(J2)	令和元年 2019年(J2)	令和2年 2020年(J2)	令和3年 2021年(J2)	令和4年 2022年(J2)
営業収入	1,727,201,556	1,511,261,821	1,454,917,359	1,228,880,631	1,291,863,131	1,563,953,767
入場料	143,093,839	90,486,768	90,004,086	42,872,602	44,042,850	52,685,844
広告料	774,065,439	759,704,698	799,610,444	724,982,475	717,627,727	748,565,634
クラブサポーター	210,032,717	206,662,324	195,749,862	66,590,306	153,028,234	156,074,261
J配分金ほか	463,909,895	306,127,811	165,447,151	172,667,696	185,225,932	187,103,577
その他収益	136,099,666	148,280,220	204,105,816	221,767,552	191,938,388	419,524,451
営業費用	1,689,213,576	1,500,402,433	1,460,252,199	1,278,016,746	1,227,456,828	1,527,818,926
チーム関係費	1,091,404,234	961,922,514	903,867,321	781,626,966	652,472,887	917,657,134
試合運営費	105,709,821	118,416,941	104,123,720	74,681,276	107,018,500	104,529,943
クラブ運営費	492,099,521	420,062,978	452,261,158	421,708,504	467,965,441	505,631,849
営業利益	37,987,980	10,859,388	-5,334,840	-49,136,115	64,406,303	36,134,841
営業外利益	9,294,536	8,182,030	10,151,759	31,726,110	25,633,623	24,284,611
営業外費用	10,484,949	8,374,152	7,473,941	4,581,627	6,063,593	5,887,354
経常利益	36,797,567	10,667,266	-2,657,022	-21,991,632	83,976,333	54,532,098
特別利益	0	84,669	0	0	0	45,099
特別損失	3,623,571	0	1	0	0	13,622,316
税引前当期純利益	33,173,996	10,751,935	-2,657,023	-21,991,632	83,976,333	40,954,881
法人税及び住民税	10,155,732	3,935,022	297,255	297,203	16,751,239	14,669,140
法人税等調整額	3,537,385	5,676,911	1,655,826	30,378,337	0	0
当期利益	19,480,879	1,140,002	-4,610,104	-52,667,172	67,225,094	26,285,741
過年度税効果調整額	0	0	0	0	0	0
繰越損益	-97,972,060	-96,832,058	-101,442,162	-154,109,334	-86,884,240	-60,598,499

2023 シーズン目標

○ シーズンシート会員数

4,500 名

○ ヴァンクラブ（公式ファンクラブ）会員数

5,000 名

○ 平均観客動員数

7,000 人（前年度実績 4,930 人）

○ 広告料収入

8 億 4,000 万円（前年度実績 7 億 4,800 万円）